



## 新年のご挨拶

一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

病院長 永田 泉

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな気持ちでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より小倉記念病院の活動にご理解とご協力をいただいております、誠にありがとうございます。

昨年は、あわただしい一年ではありましたが、近隣医療機関の先生をはじめ、各関係機関の皆さまのご協力により、新しい年を迎えることができました。改めて厚く御礼申し上げます。

当院は1916年（大正5年）に創立して以来、間もなく100周年を迎えますが、立ち止まらずに次の新しい100年に向かって、「より信頼される病院」を創っていかねばなりません。これからも変わらず「やさしい高度医療」で地域を支えていきます。

高度医療というと、優れた医療技術、先進の医療機器を駆使するといったイメージではありますが、私たちは常にそこに「心ある医療」を付加させていきます。質の高い医療を提供するために最も大切なものは、そこで働く「人」です。医療は、どんなに高度な技術やシステムもすべて「人」を介して提供することは言うまでもありません。患者さんの幸せというのは当たり前ですが、その前に、職員が幸せでなければ患者さんに優しくできません。

この「高度医療」と「やさしい心」の両輪を持って、今までどおり、心臓の血管、足の血管、頭の血管などの循環器系の高度な医療を中心に提供できる病院として、皆さまのお役に立ちたいと思っています。更に、将来的には、治療だけではなく、血管、動脈硬化、糖尿病、血圧などの全身の管理もできるようなシステムを充実させたいと考えています。

私たち職員一同は力を結集し、最新医療を住み慣れた地域で受診することができるように、そして、患者さん、職員、地域の皆さまが幸せに、いつもどおりの生活をしていただけるように努力する、それが使命だと感じています。

本年が、近隣医療機関の先生方をはじめ、関係機関や地域の皆さまにとりまして、実り多い1年となりますことをご祈念申し上げますとともに、職員一同、地域医療への貢献へ邁進してまいりますので、本年もどうぞご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。